

人口と世帯	人口	33,746人	(17人減)
	男	17,250人	(19人減)
	女	16,496人	(2人増)
	世帯	13,618	(14世帯増)
	外国人登録数	581人	

11月1日現在
()は前月比



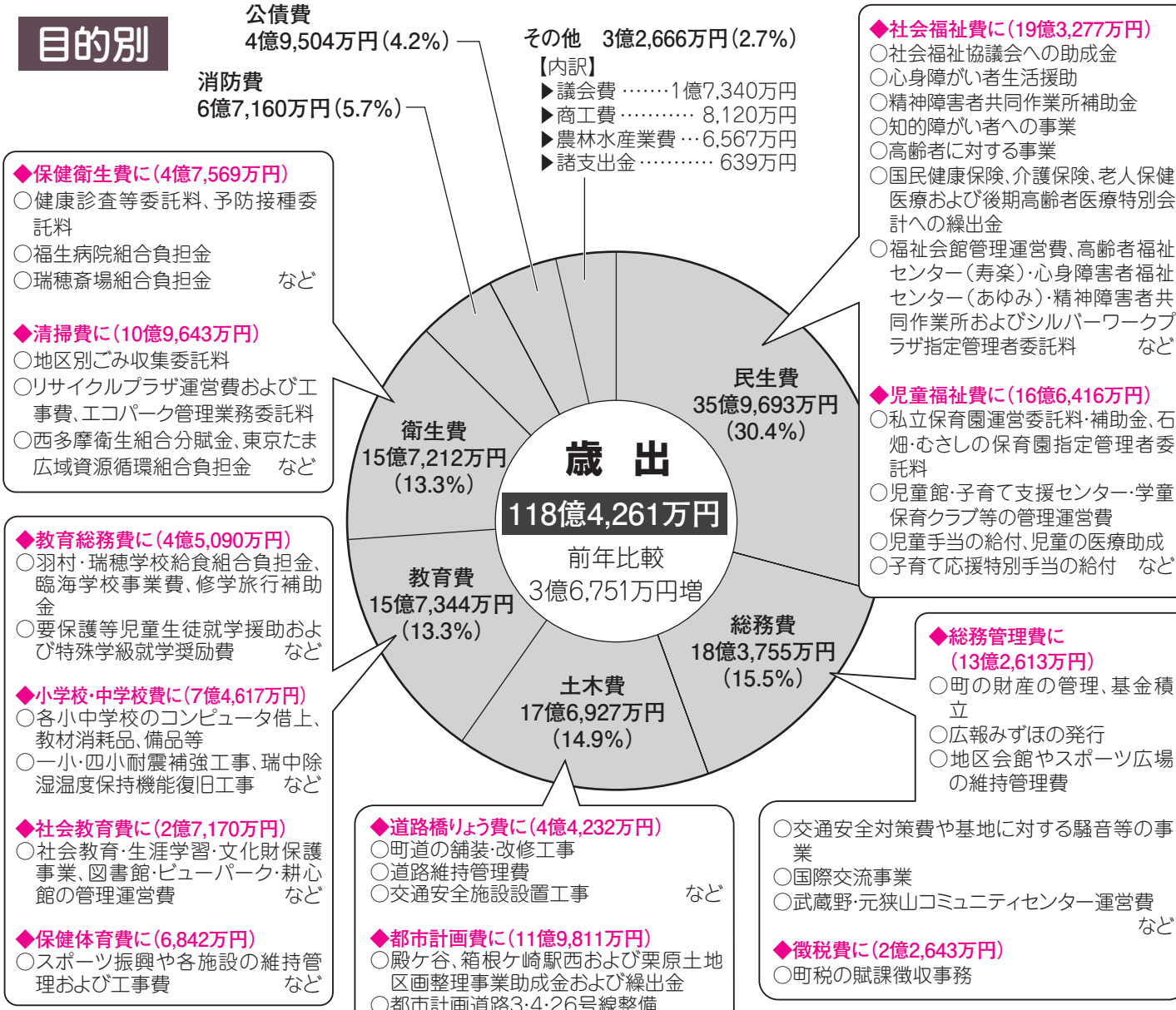
だるま作りを見学

11月17日、五小の3年生が、社会科の学習で、町の特産品「東京だるま」の製作工程を学習するために、だるま屋さんに行きました。子どもたちは、真剣なまなざしで見つめていました。

おもな内容

平成20年度決算報告・平成21年度財政執行状況	2～6
官民協働事業による「暮らしの便利帳」発行	7
みずほ伝言板	町職員の給与などをお知らせします 年末年始の窓口業務 8～10
福祉	平成22年度 保育園園児募集 平成22年度 学童保育クラブ入所申請書の受付 ほか 11～13・16
インフォメーション	六道山公園で初日の出を「みずほ超とくとく 商品券」お楽しみ抽選当選番号の発表 ほか 17～21
教育委員会からのお知らせ	新年歩こう会 成人式のご案内 ターゲット バードゴルフ教室 ほか 22～24

一般会計 使ったお金(歳出)



性質別

補助費 20億4,514万円 (17.3%)	物件費 20億4,164万円 (17.2%)	人件費 20億1,008万円 (17.0%)	繰出金 18億6,171万円 (15.7%)	扶助費 17億2,407万円 (14.6%)	普通建設事業費 13億5,195万円 (11.4%)	維持補修費 7,396万円 (0.6%)	積立金 2億3,762万円 (2.0%)	公債費 4億9,504万円 (4.2%)
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

【維持補修費】
公共施設を維持するために必要な補修などをするための経費

【積立金】
年度間の財源の不均衡を調整するためや公共施設建設のための基金などへ積み立てるお金

【公債費】
町の借金である町債に対する毎年度の元金の償還と、利子の支払いに要する経費

【普通建設事業費】
新築工事などの建設事業に要する経費

【扶助費】
社会保障制度の一環として、高齢者・児童・心身障がい者などを援助するための経費

【繰出金】
国民健康保険・介護保険・下水道事業会計などに対し、支出される経費

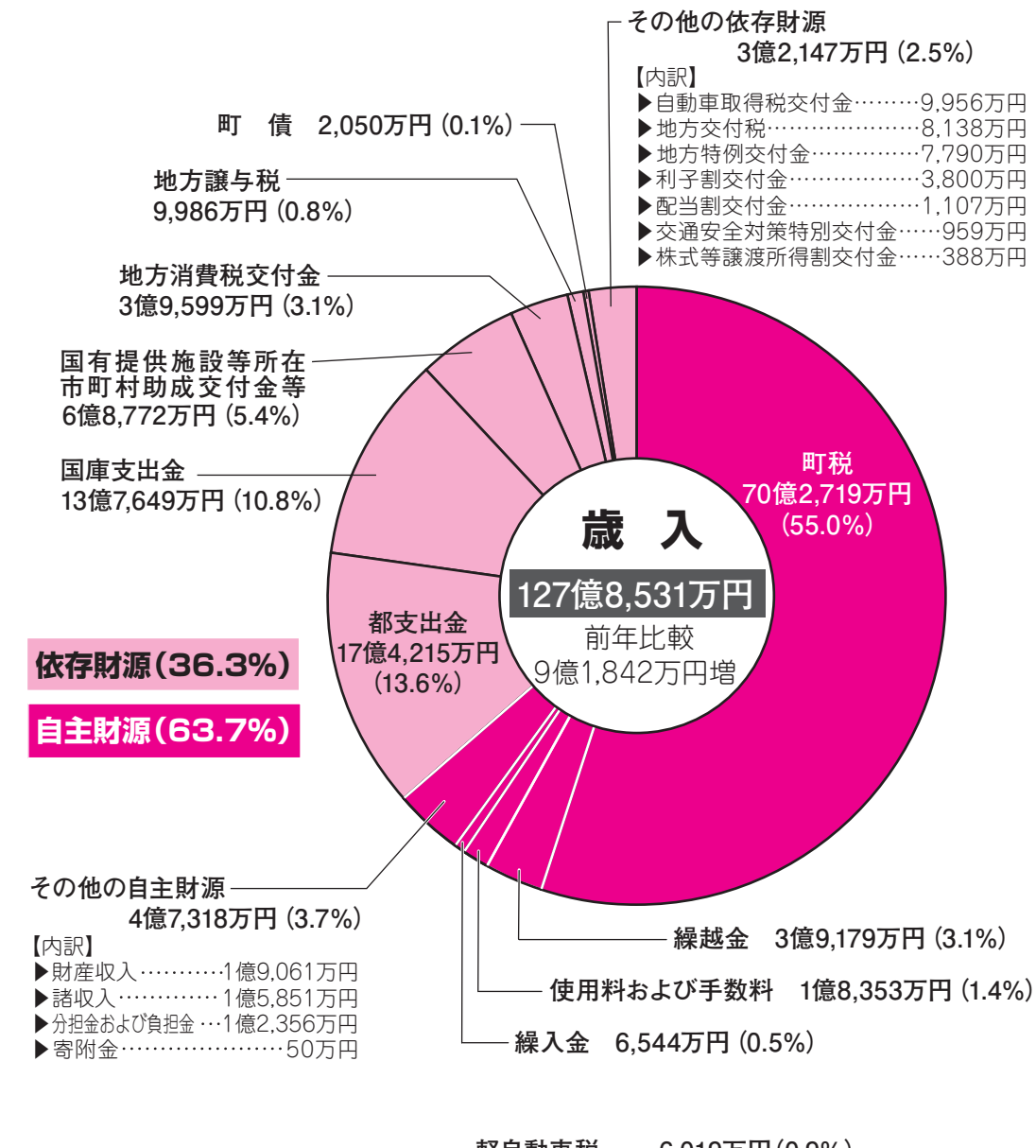
【人件費】
職員・特別職の給与や退職金、町議会議員や各委員会の委員に支給される報酬など

【物件費】
賃金、旅費、消耗品費、燃料費、光熱水費、委託料、備品購入費など

【補助費】
町民や団体などが行う事業に対する補助金や、西多摩衛生組合や福生病院組合などの一部事務組合への負担金など

用語解説

一般会計 入ったお金(歳入)



※都市計画税は、都市計画道路整備事業、下水道整備事業、土地区画整理事業に使いました。

平成20年度 決算について

平成20年度一般会計の決算額は、歳入総額127億8,531万円、歳出総額は118億4,261万円で、前年比で歳入は9.1%増、歳出は7.7%増となりました。

平成20年度一般会計の決算額は、歳入総額127億8,531万円、歳出総額は118億4,261万円で、前年比で歳入は9.1%増、歳出は7.7%増となりました。

平成20年度決算における健全化判断比率の状況

問合せ 企画財政課 TEL 557—7483

平成19年度より「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行となり、平成20年度決算における健全化判断比率を算出しました。比率を見ることにより、瑞穂町がどのような財政状況であるかの判断材料となります。

各比率から分かること

- 平成20年度決算における各比率の状況は、実質赤字比率、連結実質赤字比率がマイナスの数値となり黒字決算となりました。
- 実質公債費比率は、借金の返済の割合が3％台にとどまり、無理のない返済をしていることがうかがえます。
- 将来負担比率もマイナスの数値となり、借金が将来においても無理のないレベルで借りていることが分かります。

結果、瑞穂町は健全財政を維持していることが分かります。

健全化判断比率は、4つの比率があり各比率は次の通りです。(単位：％)

区 分	瑞穂町の平成20年度比率	早期健全化基準(黄色信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	—	13.89	20.00
連結実質赤字比率	—	18.89	40.00
実質公債費比率	3.4 (3年平均)	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

備考：本表中、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は、マイナス数値のため、表示されません。
参考数値として実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は次の通りです。
実質赤字比率：－6.21％ 連結実質赤字比率：－7.02％ 将来負担比率：－40.6％

← 財政健全 黒字 ← → 赤字 財政悪化 →

実質赤字比率

10 20 30 40 %

瑞穂町 -6.21%

連結実質赤字比率

10 20 30 40 %

瑞穂町 -7.02%

実質公債費比率

0 10 20 30 40 %

瑞穂町 3.4%

将来負担比率

0 100 200 300 400 %

瑞穂町 -40.6%

関連として公営企業(下水道事業)における資金不足比率は次の通りです。

資金不足額	事業の規模	資金不足比率	経営健全化基準
— 円	5 億 8,850 万 7,000 円	— %	20.0 %

備考：資金不足額、資金不足比率はありませんので表示されません。参考数値として資金不足額、資金不足比率は次の通りです。
資金不足額：資金剰余額として 592 万 7,000 円 資金不足比率：－1.01％

【実質赤字比率】
一般会計等に係る歳入総額から歳出総額を差し引いた額の標準財政規模に対する割合です。一般会計等の決算額が黒字か赤字かを表す数値です。赤字がプラスの数値で表されるため、黒字はマイナスの数値(二)で表されます。

【連結実質赤字比率】
一般会計、特別会計(財産区特別会計を除く)を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する割合です。一般会計、特別会計を合わせた決算額が赤字か黒字かを表す数値です。赤字がプラスの数値、黒字がマイナスの数値(二)で表されます。

【実質公債費比率】
一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する割合です。標準的な収入のうち、借金(元利償還金、準元利償還金)の返済に充てている割合を表します。

【将来負担比率】
一般会計等が背負っている借金が、一般会計等の標準的な年間収入の何年分かを表します。

【標準財政規模】
地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもので、当該団体の標準的な税収入額と普通交付税額(瑞穂町は不交付)を合算したものです。

【資金不足比率】
公営企業(下水道事業)の資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを表します。一般会計等の実質赤字比率に相当するものです。

【早期健全化基準】
4つの健全化判断比率のうち、一つでも早期健全化基準を超えると「財政健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、財政健全化に向け努力しなければなりません。

【経営健全化基準】
基準を超えると「経営健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、経営健全化に向けて努力しなければなりません。

【財政再生基準】
早期健全化段階より悪化した状態で、将来負担比率以外の比率のうち一つでも財政再生基準を超えると「財政再生計画」を定め、議会の承認を得た後、総務大臣に報告し、財政再生に取り組まなければなりません。

平成20年度の一般会計決算

町民一人当たりが
町に納めたお金(町税負担額)
20万8千円

町民一人当たり
掛かったお金(支出額)
35万1千円

※そのほかの収入として、国や都の負担金・助成金などがあります。

*負担額は町税を、支出額は一般会計歳出総額を平成21年3月31日現在の人口(33,720人)で割った金額です。

町民一人当たり
に掛かった
お金の内訳

総合福祉対策に
10万7,000円

健康管理や環境衛生に
4万7,000円

地域振興・町有財産
管理に
5万4,000円

災害対策に
2万円

道路・公園等の整備に
5万2,000円

借金の返済に
1万5,000円

教育・文化事業に
4万7,000円

その他
9,000円

特別会計

会 計 別	最終予算額	収入額(収入率)	支出額(執行率)
国民健康保険	35億7,180万円	35億1,142万円(98.3%)	34億8,158万円(97.5%)
駅西土地区画整理事業	6億9,671万円	6億9,674万円(100.0%)	6億9,246万円(99.4%)
下水道事業	10億4,251万円	10億2,793万円(98.6%)	10億2,201万円(98.0%)
老人保健医療	2億1,152万円	2億1,280万円(100.6%)	2億 335万円(96.1%)
介護保険	14億5,334万円	14億4,413万円(99.4%)	14億2,990万円(98.4%)
後期高齢者医療会計	3億6,881万円	3億5,642万円(96.6%)	3億5,549万円(96.4%)
殿ヶ谷財産区	2,183万円	2,184万円(100.0%)	2,023万円(92.7%)
石畑財産区	1,464万円	1,409万円(96.2%)	1,118万円(76.4%)
箱根ヶ崎財産区	883万円	878万円(99.4%)	756万円(65.6%)
長岡財産区	57万円	57万円(100.0%)	33万円(57.9%)

町の財産

●土地 …………… 47万9,300㎡	▶介護給付費準備基金 …………… 8,643万円
●建物 …………… 8万2,409㎡	▶瑞穂斎場周辺整備基金 …………… 1億4,377万円
●基金総額 …………… 91億8,673万円	●緑の基金 …………… 1億 118万円
【内訳】	▶教育振興基金 …………… 1億4,852万円
▶土地開発基金 …………… 5億 115万円	▶健康づくり基金 …………… 6,160万円
▶財政調整基金 …………… 13億7,046万円	▶安全・安心まちづくり基金 …………… 1,812万円
▶公共施設建設基金 …………… 44億3,228万円	▶教育向上基金 …………… 4,508万円
▶国民健康保険基金 …………… 181万円	▶介護従事者処遇改善臨時特例基金 …………… 1,426万円
▶国民健康保険高額療養費貸付基金 …………… 300万円	▶殿ヶ谷財産区基金 …………… 1億5,923万円
▶まちづくり振興基金 …………… 1億6,032万円	▶石畑財産区基金 …………… 3億1,091万円
▶社会福祉基金 …………… 3億1,020万円	▶箱根ヶ崎財産区基金 …………… 2億2,731万円
▶減債基金 …………… 5億 480万円	▶長岡財産区基金 …………… 561万円
▶西部地区公共施設整備基金 …………… 5,030万円	●物品・車両・備品 …………… 342台・式等
▶総合体育施設建設基金 …………… 5億3,039万円	

町債の現在高

●一般会計事業債 45億 138万円	●駅西土地区画整理事業債 9億9,100万円
●下水道事業債 33億2,071万円	

問合せ 企画財政課 TEL 557—7483

5 広報みずほ 平成21年12月号 4 広報みずほ 平成21年12月号